

令和8年2月17日

保護者・地域の皆様

横浜市立いずみ野小学校
校長 齋藤 敦子

令和7年度 いずみ野小学校 学校評価報告

学校評価アンケートにご協力いただき、心より感謝申し上げます。本年度は統合2年目となり、また変化していく新しい学習の進め方についても試行錯誤を重ねる一年となりました。この度皆様からいただきました貴重なご意見は、教職員一同真摯に受け止め、来年度の教育活動に繋いでいきます。また、本報告書を読んでいただき、ともに子どもを育てる視点を共有し、信頼関係を深めていければと願っております。

保護者アンケート 【回答数：244】

A：よく当てはまる B：当てはまる C：あまり当てはまらない D：当てはまらない (%)

	項目	A	B	C	D	A+B	C+D
①	お子さんは、楽しく学校生活を送っている。	36	53	10	1	89	11
②	お子さんは、基礎的な学力が身についている。	24	56	18	3	80	20
③	お子さんは、自分や友だちのよさを見つけ、相手を思いやることができる。	32	60	7	1	91	9
④	お子さんは、基本的な生活習慣が身についている。 (あいさつ・決まりを守る・学習の準備をするなど)	27	60	11	2	86	14
⑤	お子さんは、健康的な生活を心がけている。(早寝早起き朝ごはん・歯みがき・洗顔など)	32	50	15	2	82	18
⑥	学校は、タブレットなどのICT機器を活用した学習を進めている。	30	62	5	1	92	7
⑦	学校は、外国語や国際教室の活動などを通して、多文化共生の取組を進めている。	20	74	4	0	95	4
⑧	学校は、お子さんに対して定期的なアンケートや面談等を実施することで、困り感を把握し、相談に応じている。	24	57	15	3	81	17
⑨	学校は、子どもたちの様子を行事・授業参観・懇談会・お便り・あゆみ等を通して伝えている。	35	57	6	0	93	6
⑩	学校では、特色ある教育活動が行われている。 (キラリンピック、スーパー給食などの地産地消・たてわり活動など)	43	51	5	0	94	5
⑪	学校は、保護者やMSIなどの地域人材、幼保小・小中・小高連携を活かした取り組みを通して、保護者や地域の方たちとのかかわりを大切にしている。	31	56	8	0	88	8

児童アンケート ○子どもの姿【回答数294名】

A：よく当てはまる B：当てはまる C：あまり当てはまらない D：当てはまらない (%)

	項目	A	B	C	D	A+B	C+D
①	学校へ行くのが楽しい。	40	46	10	3	86	14
②	授業は分かりやすい。	38	48	11	2	86	14
③	自分や学級、学年、キラりん班の友だちのよい所を見つけたり、思いやりをもった行動をしたりしている。	34	52	12	2	86	14
④	基本的な生活習慣に気を付けている。(あいさつ・きまりを守る・学習の準備など)	36	53	10	0	89	11
⑤	健康に気を付けて生活している。(早寝早起き朝ごはん・歯みがき・洗顔など)	52	35	10	2	88	12
⑥	タブレットを正しく使いながら、学習にいかすことができている。	59	36	4	1	95	5
⑦	学級、学年、キラりん班の友だちと、なかよく学校生活を送っている。	57	37	6	0	94	6
⑧	困ったことがあったときに、話を聞いてもらったり、相談したりすることができる先生がいる。	36	45	14	5	81	19
⑨	キラリンピックやスーパー給食などの地産地消、キラりん班活動などを通して、学んだり成長したりできている。	40	53	5	2	93	7
⑩	地域の方たちが、学習を助けてくれたり安全を守ってくれたりしていることに感謝している。	65	32	2	0	97	3

【アンケートの結果から】

回答 A と B の合計が 80%台～95%と、保護者、児童共に項目によって多少の幅があるものの、すべての項目において昨年度と同等か良いという結果になりました。以下に、各項目に対する分析や、保護者・児童アンケートの相関について考察を記します。

○各項目について

- ・A+Bの数値が、保⑨「学校からのお知らせ」について93%、保⑩「特色ある教育活動」では94%となり、本校の特色ある教育活動が評価されるとともに、それらの取組が保護者の皆様に伝わった結果だと考えられます。「自由記述欄で、お知らせの内容によってはプリント配付も行ってほしい。」という意見もありましたので、真摯に受け止めつつ、予算削減や環境保護の観点も視野に入れながら、保護者の皆様への連絡方法を検討し、特色のある教育活動が行えるようにしてまいります。
- ・保⑤「多文化共生の取組」について、一番高い評価をいただきました。外国語や国際教室の活動など、本校の様々な取組について保護者の皆様にご理解いただいた結果だと思われまます。今後も、より多文化理解が進むような取り組みを行ってまいります。
- ・保②「基礎的な学力」についてが80%となり、アンケート全体の中で一番低い評価となりました。校内での授業研究や研修を通して授業力向上を図る取り組みを、より一層充実させる必要があると感じております。

○保護者・児童の相関

- ・昨年度のように保護者と児童との間で10%以上の開きがあるような項目がありませんでした。その中で、一番開きが大きかった項目が⑤「健康的な生活」について6%の開きがありました。児童に比べ保護者の方が低かったことから、子どもたちはできていると感じていても、親としては出来ていないと感じている表れだと思えます。保健の学習や日々の取組の中で、より健康的な生活が送れるように支援していきたいと思えます。
- ・⑧「困り感の把握と、相談」について保護者・児童共に81%となりました。昨年度の保護者70%、児童72%と比べると10%ほど評価が上がりましたが、まだ十分とは言えない数字だと思えます。より、相談しやすい学校を目指してまいります。

○その他○

- ・児⑪「地域の方への感謝の気持ち」について…A+Bの数値が97%と児童アンケートの中で一番高い数値となり、昨年度よりも高い結果となりました。これは、登下校の学園隊の皆様、各教科指導の際の学習支援、町探検などで地域に出る際の付き添い、生活科や総合的な学習の時間の中の生産活動への支援など、様々な場面で地域の方々に支えられて教育活動が行われていることを、子どもたちが実感できている表れだと思えます。

本年度は、阿久和小学校といずみ野小学校の統合2年目ということで、昨年度の反省を生かしながら学校運営を進めてまいりました。来年度も、よりよい教育活動を考えていきます。

学校はいつでも安心して相談できる環境作りに努め、
子どもたちの成長を見守っていく所存です。来年度も、
益々のご理解とご協力をお願いいたします。

